

# 関西北陸ブロック みんなの共済2024

## 概要

日程：2024年10月13日（日）  
場所：立命館大学大阪いばらきキャンパス OIC Cafeteria

## 参加者

富山大(2)、富県大(3)、福井大(2)、同志社(1)、立命館(32)、龍谷大(14)、京都橘(3)、奈良女(5)、奈良教(3)、奈良大(4)、滋県大(9)、滋賀大(3)、近畿大(14)、大経大(9)、阪南大(2)、大阪大(11)、大教大(1)、関学大(30)、兵庫大(10)、院生委(2)、共済連(見学)(3)

計19会員160名



他大学のひととの交流が楽しかったし、共済について学ぶことができた。  
(関学大1年)

## 01 アイスブレイク

### 身近な「たすけあい」を実感しよう

学生だけでなく、生協職員も参加した本セミナー。はじめは緊張していましたが、自己紹介やアイスブレイクを通して打ち解けていました。

今回のアイスブレイクは、「身近なたすけあいを実感しよう」ということで、自分が助けた・助けられた経験を思い出して、班で交流しました。共済のポイントとなる「たすけあい」を自分事として考えてもらうことができました。

## 02 企画① 共済や「たすけあい」に込められた想いについて知る時間

### 共済を自分の言葉で説明しよう！

企画①では、共済の成り立ちや込められた想いについて、寸劇などを通して学びました。グループワークでは、漫画に参加者自身でセリフを入れてもらい、班で共有し、自分の言葉で共済を説明できるようになりました。

また、こころの早期対応保障や新社会人コースについても学びを深めました。「たすけあい」をキーワードに、主体的にワークを行うことができました。



アンケートを読んだりパンフレットを見たりして、共済について詳しく知ることができて良かった。  
(立命館1年)

## 03 企画② 充実した共済活動を行うための時間（通常期）

### 4本柱について理解し、共済活動を体験しよう！

加入・給付・報告・予防からなる4本柱が共済活動における軸になっていること、それぞれが相互に関わり合っていることを会員の活動例を通して学びました。

また、泥酔体験ゴーグルやベジチェックなど共済の予防活動の体験を通して、他人事ではなく自分事として共済活動を行う意義を考えることができました。



実際に体験することで、組合員に伝えたい想いを整理することができた。これからはしたい企画などを少しずつ想像することができた。  
(龍谷大2年)

# 04 企画③ 今を知り、想いを未来へ つなげる時間（新学期）

## 自大学の仲間と新学期を考えよう！

企画③では、大学別の班に分かれて、自大学の仲間と企画①②を通して感じたことや共済活動について考えたことを共有しました。次に、取り組みの作り方や関西北陸ブロックの新学期の現状の提起を聞き、自大学の仲間と新学期の共済活動を話し合い、次に起こすアクションを考えました。自大学の仲間と新学期の共済活動を考える良い機会となっていました。



自分たちの課題を改めて書き出して、何ができるか明確になった。  
(大経大 2年)

# 05 事前課題の展示

## みんなの共済活動を知ろう！

本セミナーでは参加会員に事前課題を設け、自大学での共済活動を紹介するポスターを作成してもらいました。事前課題は、当日会場に展示し、参加者が自由にコメントできるようにしました。いただいたコメントは、会員に持ち帰ってもらいました。また、参加者全員に事前課題集を配布しました。自大学での共済活動のヒントになればと思います。



他大学の共済活動を知ることが出来て良かった。自分の大学でも生かせそうな発見があった。  
(滋賀大 3年)

# 06 たすけあい奨学制度の 募金活動

## 全国の仲間の学業継続のために

休憩時間中に「たすけあい奨学制度」の募金活動を実施しました。募金いただいた金額に応じて、タヌローやヘルムなどのグッズをプレゼントさせていただきました。たくさんの方のたすけあいの想いで、111,807円の寄付をいただきました。寄付金は全額、全国大学生協連奨学財団に寄付させていただきます。扶養者を亡くした学生が、1人でも多く学業継続できることを祈ります。



扶養者を亡くされた方に給付する12万円まであと少しのところでしたが、たくさんの方から募金をいただきました。



自分が今まで知っていたかと思っていたことでも新たな気づきや考え方を知り、より共済に関する考えを深められた。  
(立命館 2年)

# 07 「みんなの共済2024」を 通して

## 全体を通して

今回の「みんなの共済2024」には、共済の基礎を振り返りつつ、各会員生協がより幅を持たせた共済活動を行っていくことができればという想いがありました。

本セミナーを通して、共済について学ぶことができたという意見の一方で、既に知っている情報が多かったという意見もいただきました。このような共済の理解度にムラができないよう、学生事務局は会員支援を続けます。



ご質問や[ K's NEWS ]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！  
ブロック学生事務局 [ 大金 飛鳥 ]  
Ogane.Asuka@univ.coop